



# 聞こえの一生を支え続ける つけていることを忘れるほどの 自然な聞こえを追求した補聴器

補聴器と聴力検査機器のブランドを統一し、聞こえのトータルブランドとなった「RIONET」。  
そのフラッグシップモデルである「リオネット2」の魅力を開発者に聞いた。

AI搭載で  
より自然な聞こえへ

リオネット補聴器は、医療現場の聴力検査機器のリオネットブランドを統一。聞こえのトータルブランド「RIONET(リオネット)」として新たなスタートを切った。リオネット補聴器は1948年に国内で初めて量産型補聴器を発売して以来、「聞こえ」を届け続けてきた。またリオンの手がける



山田新氏  
リオネット 医療機器事業部 開発部  
補聴器開発課

聴力検査機器は国内の多くの医療機関に導入され、難聴の早期発見に貢献してきた。このほど両者のブランドを統一し「RIONET(リオネット)」として新たなスタートを切ったことで、難聴の発見から聞こえに不安のない日常を取り戻すまで、生涯にわたって聞こえを支える姿勢が鮮明になった。

ブランド名を冠する最新補聴器「リオネット2」は、聞こえとカタチの両面から進化させたフラッグシップモデルとなっている。「補聴器の存在を忘れてしまいうほど、自然体で毎日を過ごしてほしい」。『リオネット2』は、この想いを原動力にして開発を進めました」開発に携わったリオネット 医療機器事業部開発部補聴器開発課の山田新さんはこう語る。



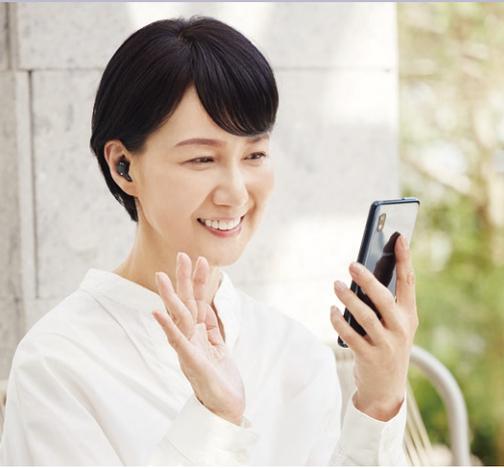
軽い装着感の耳かけ型補聴器(RIC)はスモークキーで落ち着いた色味の4色展開

こえを調整したい」と感じる場面では、スマホの専用アプリから、補聴器の音質やデジタル機能などを自分自身で微調整できる<sup>※1</sup>。  
スマホ通話がもっと楽しく充電式で煩わしさも解消  
「リオネット2」には耳あな型、耳かけ型(RIC)をとともにラインアップ。カラーバリエーションも豊富でユー

ザーの好みやライフスタイルに応じた製品を選べる。スマホと補聴器がつながるようになり、使い勝手のうえでも大幅に進化した。スマホの音声が入る補聴器に届く<sup>※2</sup>ので、よりクリアな音質で家族との電話や音楽鑑賞、動画視聴が楽しめる。さらに別売のテレビアダプターを使えば、テレビの音声を補聴器に直接届けることも

できる。「周囲からテレビの音量が大きいと指摘される」と悩んでいる方も、テレビアダプターがあれば家族や友人らとテレビを囲み、気兼ねなくスポーツ観戦やドラマ鑑賞に興じることができそうだ。補聴器を使い続けられるサポートを提供する

リオネットではすべての補聴器ユーザーに寄り添うための行動指針として「リオネット・フィッティングポリシー」を制定。全国のリオネット販売店と協力して、最適な補聴器選びや、補聴器を使いこなせるようになるまでのトレーニングなどを支援している。「これからも製品とサポート双方の品質を高めていき、補聴器をつけていることを忘れるほど自然体でいられる毎日を提供していきます」



オーダーメイドの耳あな型補聴器。写真のスモークブラックのほか、アッシュブラウン、ベージュもある



「リオネット2」は充電式を採用。大容量の充電電池を搭載し、一日中外出しても電池切れの心配はない

その聞こえのためにすべてを。

# RIONET

— リオネット補聴器お客様コールセンター —

☎0120-2933-76

受付時間  
9:00~21:00



「リオネット2」  
専用サイトはこちらから



資料請求をいただいた方に  
プレゼント!

本特集巻末のハガキかオンラインフォームから資料請求をいただいた方全員に、「よくわかる聞こえと難聴ハンドブック」をお届けします。

※1 マキシエンス/マキシエンスVのみ搭載。  
※2 iOS14以降を搭載したiPhone、iPad、iPad touchに対応しています。Androidについては、補聴器のアップデートによりLE Audioに準拠したスマートフォン、タブレットに今後連携が可能となります。